

いわて県連だより

【第71号】 発行日：2024年8月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



県連総務会

八月二十四日、盛岡市内において県連総務会を開催しました。広瀬めぐみ氏の議員辞職を受け、藤原崇県連会長が会長職の辞任を報告し、当分の間、会長職は置かず、岩崎友一会長代理がその職務に当たることとなりました。

また、これに伴う参議院議員の補欠選挙への対応については、候補者を擁立すべきとの意見も出されましたが、広瀬氏を擁立した責任を県連としても重く受け止め、はじめをつけるため、候補者を擁立しないことを決定し、党本部へ上申しました。

本件事案は、日頃からご支持・応援いただいている皆様の期待や信頼を裏切る行為であり、県連といたしましても、県民の皆様にごめす。深くお詫びを申し上げます。



自民党総裁選のお知らせ

- ◆ 告示日:令和6年9月12日(木)
- ◆ 党員投票期間:~9月26日(木)
- ・往復はがきによる郵便投票
(各戸配達は9月17日(火)予定)
- ・9月26日(木)盛岡中央郵便局必着
(9月24日(火)までにポストに投函)



【自民党青年局】第四十九回TEAM-11来県



北海道から沖縄まで多くのメンバーが参加

七月二十九日(三十一日)にかけて、自民党青年局有志研修会第四十九回拡大チームイレブンが、岩手・宮城・福島の地で行われました。

この活動は、東日本大震災被災地の復興を後押しするため、平成二十四年二月にスタートしました。以後、青年局国会議員と全国十一ブロックの代表が様々な災害の被害である方々のお話を伺い、被災現場を実際に見て今後の活動に活かしています。今回は、全国からおおよそ六十人が参加しました。

初日の岩手は、宮古市の震災遺構たろう観光ホテルからスタート。津波の様子が実際に撮影された施設の六階で見る映像では、その高さで威力を実感しました。続いて、陸前高田市の東日本大震災津波伝承館では、震災の事実と教訓、復興の姿に刻み込まれました。

二日目の宮城は、石巻市の震災遺構大川小学校、南三陸町の南三陸病院台湾記念碑等を見学。その後、県立多賀城高等学校では、元党本部青年局長代理の熊谷ゆたか府町長からご講演をいただき、生徒の皆さんと青年局が一緒になってグループワーク並びに政策提言を行いました。

三日目の福島は、福島第一原子力発電所の敷地内や中間貯蔵施設において、廃炉に向けた進捗と今後の見通しを間近で見学しました。国民も注目しているALPS処理水の海洋放出や、燃料デブリの試験的取り出しなど、丁寧な説明のもと、慎重に作業することの必要性和重要性を改めて感じました。

全国から多くの青年局メンバーが集まり、震災の事実と教訓を共有できたことは大きな収穫です。災害の記憶を風化させないだけでなく、そこから学ぶことを念頭に、今後も様々な課題に対し、ファーストペンギンとして、果敢に立ち向かってまいります。



福島第一原発の各号機が目の前



宮城県立多賀城高等学校の生徒と共に



震災遺構たろう観光ホテル6階

